

人文学部と独立行政法人国際協力機構（JICA）筑波国際センターとの 連携協力推進の覚書を締結

人文学部と JICA は、9 月 19 日、連携協力推進に係る覚書を締結した。人文学部から伏見厚次郎学部長の他 5 人、JICA から木邨洗一所長他 2 名が出席した。

覚書は、人文コミュニケーション学科で「国際交流論」の講義担当者を JICA に依頼したことをきっかけにスタート。JICA 側から個別の授業だけを担当するのではなく、両者の連携に基づいた協力関係の構築の希望が出され、人文学部側からも将来のインターンシップ派遣先を含むより広範な連携協力の要望が出て、覚書の締結になりました。

伏見学部長は、「国際協力論」の授業で、現場で活動されている講師陣の講義を学生が受けることで、教育効果がより一層深まることや将来は覚書から協定にステップアップすることへの期待を述べた。

木邨所長は、JICA の発足とその経緯を説明された後、地域と密接につながって地域の結節点になることが求められているとの認識を示し、大学がグローバルな人材を育成するために協力していきたいとの意欲を示した。また、覚書を端緒として、様々な分野で大学の教育と研究に貢献していきたいと決意を述べた。



右から、木邨洗一 JICA 所長、伏見厚次郎学部長